く事業イメージ>

畜水産物に対する消費者の信頼確保

安全な畜水産物の動物での抗菌剤の

の 有

効

性確

の安定供給

性菌

指導後

<対策のポイント>

畜産・水産・農業分野における**薬剤耐性菌の監視・動向調査を強化**し、**抗菌剤の慎重な使用に関する研修**を実施するとともに、**ワクチンや代替薬等の開発 等を支援**します。

<政策目標>

薬剤耐性(AMR)対策アクションプランに沿った取組を推進し、薬剤耐性菌の発生を抑え、国産の畜水産物に対する消費者の信頼確保に貢献

く事業の内容>

- 1. 監視・動向調査の強化、抗菌剤の慎重な使用に関する研修の実施 273 (308) 百万円の内数
- ①家畜、養殖水産動物及び愛玩動物における薬剤耐性菌発現の動向調査や、 動物からヒトへの伝播が懸念されている薬剤耐性菌の調査・解析を実施します。 薬剤耐性の発生・伝播機序の解明等に必要な遺伝子データベースを整備します。
- ② 畜産分野において、 獣医師、生産者等に対する研修を実施します。
- ③農業分野において、薬剤耐性菌の発現状況等の調査を実施します。
- 2. ワクチンや代替薬等の開発・実用化の促進 70(78)百万円の内数
- ○抗菌剤の使用機会の減少に資する**ワクチン・抗菌剤の代替薬剤・飼料添加物の 開発・実用化を支援**します。
- 3. 養殖水産分野における指導体制の構築 2,221(2,038) 百万円の内数
- ○養殖水産分野において、都道府県の魚類防疫員等に対する研修を支援します。
- 4. 電子指示書発行・活用システムの構築 13(-)百万円
- 畜産農家ごとの抗菌剤の使用実態を把握するために、動物用医薬品の電子指示 書発行システムの設計(要件の検討)を行います。



動物・農業分野の 薬剤耐性の動向調査 ワクチン・代替薬剤の開発 ワクチン等の疾病予防により抗菌剤の使用機会減少 の発生抑制 魚類防疫員 3 能力向上 抗菌剤使用の指導 研修実施 獣医師に 指示書 4 よる指導

解析

消費·安全局農産安全管理課

電子指示書による抗菌剤使用実態の把握

電子化

獣医師

[お問い合わせ先] 消費・安全局畜水産安全管理課 (03-6744-2103)(03-3591-6585)